

# 森 り よ う じ

森  
が  
動  
く。



流山市議会議員

討議資料

先月、保護猫を引き取りました。市内介護施設の植え込みに遺棄されていた仔猫（推定4か月）に職員が気づき、動物愛護ボランティアの方が保護しました。コロナ禍の影響もあって空前のペットブームが続いていますが、その裏にはまだまだ悲しい事例があることも知って頂きたいと思います。

## 令和4年1-3月号 森りょうじ リポート。(107号)

清々しく新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。幸多き一年となりますようお祈り申し上げます。

### ■令和4年を迎えて

コロナ禍も丸2年となります。新たな変異株「オミクロン株」が拡がりをみせており、引き続き感染対策を行うなど慎重な行動が求められる1年になりそうです。

また私たち議員の任期は残り約1年3カ月となります。コロナ禍で生じる課題の解決と併せて、先の選挙で掲げた公約の実現に向け、果敢に行動していきたいと思っております。



【他市の議長仲間と改革を進めます】

### ■令和3年第4回定例会ダイジェスト

今期定例会（11/25～12/15）は、流山市で抱える課題（不登校児童への対応）とコロナ後を見据えた施策（白みりんミュージアム建設）関連の条例や、新型コロナ対策補正予算など議案27件を審査しました。（詳細は裏面）

また最終日に「ペット殺処分を減らし、人と動物の共生社会への取り組み強化」の意見書が全会一致で可決しました。動物愛護に関わる真の共生に向けてはさらに理解を深める必要はありますが、議会の総意として国に声を上げることが出来たのは大きな一歩と捉えています。

### ■陳情・市民相談に応じています。※一部抜粋

- ① ジュニアスポーツのサポート（環境づくり・普及）
- ② 子ども食堂活動のサポート（人材・食材集めなど）
- ③ 交通安全対策（通学路の安全・生活道路の草刈り）

○1976年6月12日流山生まれ（45歳） ○家族：妻

※サラリーマン家庭（父はNTTに勤務）で育つ  
流山市立新川小、流山市立北部中卒業  
日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

○2000年4月 大成建設株式会社に入社（管理部ほか）

○2003年4月 流山市議会議員に初当選（2,692票）

○2011年4月 流山市議会議員二期目当選（4,508票）

○2015年4月 流山市議会議員三期目当選（5,830票）

○2019年4月 流山市議会議員四期目当選（8,961票）

※政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

## 森が動く①

【令和4年度に向けた予算要望】

昨年11月、市長に令和4年度予算への要望活動を行いました。限られた財源をどのように有効活用していくか、また“あれもこれも”ではなく“今やるべき事業は何か”の視点を持ち、厳選した要望を心掛けました。課題解決に向けて事業が推進されることを期待しています。

### 森の予算要望内容とポイント！

#### ① 県道5号松戸野田線の4車線化

新川耕地の真ん中を走る道路の充実強化を求めています。人口増加や物流施設の本格稼働により、交通量が増えています。引き続き千葉県に強く要望していきます。なお渋滞緩和策として利根運河を越えた野田市域（今上交差点）の右折レーン拡充が実施される見通しです。

#### ② 国保人間ドック・脳ドック助成事業

健康維持増進や疾病の早期発見の点から、現在2つのドック事業の利用者に助成を行っています。ただ利用件数は伸び悩んでいることから、受診者拡充のために市外医療施設での利用者も対象にすることを求めています。

#### ③ 景観形成推進事業（街の価値を維持しよう）

景観は街の価値を維持していくために重要です。最たるものは広告物規制や電柱の地中化ですが、後者はコストの問題もあり進んでいません。そのため電柱のカラー化や擬木化など出来ることから促進したいと思っています。

#### ④ 動物愛護（小さな命にも優しいまちへ）

動物行政は千葉県の所管ですが、最近は自治体独自で取り組む事例も増えています。ただ税金を使うことには慎重な声もあります。そこで「ふるさと納税」を活用した財源づくりを求めています。



【我が家に来たみーちゃん】

#### ⑤ その他（主な事業名）

「介護用品支給利用品目の拡充」「児童虐待防止対策の強化」「江戸川台駅東口周辺整備」「低入札対策（品質確保）」などを求めました。

WebSite「森りようじ」を検索！  
また Twitter・Facebook も更新中！

## 森が動く②

【続・第4回定例会ダイジェスト】

新型コロナ対応（ワクチン接種3回目への準備）、低所得の子育て家庭への支援金（1世帯5万円）の補正予算、また公共施設の指定管理者を選定する重要議案が並びました。議会閉会後にも補正予算（専決処分）として小児ワクチン接種準備、子育て世帯への臨時特別給付金の報告がありました。



【ポストコロナ時代の議会へ】

また第3回定例会に続き、今議会でもコロナ禍に対応（感染対策）した審議のスマート化を図るための取り組みを行いました。

議会制民主主義において、議会は無くてはならない存在です。ただし形式や慣例を重んじるばかりに、議会運営に掛かる時間やコストの大きさは国会でも課題になっています。議会最終日には議事進行上の一部を书面配布方式の運営に変えたことにより、大幅な時間短縮を実現出来ました。引き続きポストコロナ時代の議会像を追求していきたいと思えます。

## 森が動く③

【もり散歩い・モリ街ック天国】

議員の仕事を通じて市内全域を駆け回る中、流山市の魅力や財産が数多くあることに気付かされます。最近では当市がテレビに取り上げられるケースも増えていますが、テレビの特性上、目立つものや話題性が高いものを中心に光が当たってしまうのは仕方のないことです。そこでSNSやYouTubeなどを活用して、私なりの視点で市内の魅力をお伝えしています。

新しく流山市に来られた方にはメディアで取りあげられる以外の魅力を、既存の方々にはさらに流山を知って頂く一助になれば幸いです。



【流山市の魅力は“森”だくさん！】

【事務所】流山市中野久木 559-2  
TEL & FAX: 7155-3236